

## 冠詞 a や an や the の付け方 (主に a と an について)

「これは本です。」

× This is book.

○ This is a book.

「これは私の本です。」

× This is a my book.

○ This is my book.

「これは古い本です。」

× This is old book.

○ This is an old book.

…いったい “a” や “an” って(あるいは “the” って)、どんな時に付ければいいのか？  
と、困っている人、多いかもしれませんね。

コツをお教えしましょう！ (^▽^)/

### 1 とにもかくにも「名詞」に付ける！

間違っても名詞以外の「動詞」「前置詞」などには、“a” “an” “the” は付きません。

**付けてよいのは、ひたすら「名詞」だけ！！**

(「形容詞や副詞で飾られた名詞」というのもありますよ)

※高校英語の文法なんかだと「the + 形容詞」というのもありますが、それは例外。

つまり、まずは

**「どんな単語が名詞なのか？」をつかむところから始まります。**

当サイトの「名詞 dictionary」のページなどを参考に、

まずは、「これは名詞だな」と単語を見てわかるようになりましょう(^o^)/

### 2 “a” “an” “the” の区別について

まず、“the” はとりあえず置いときますね。←置いとくんかい f(^o^);

the については語り出すと長くなるので、またの機会にあらためて m( )m

というわけで、ここでは “a” と “an” の区別について見ていきます。

それはもう知ってる！という人は、※のあたりだけ見てみてね(^o^)/b

“a book” のように “a” を付ける名詞のグループ

book boy car cat desk dog girl house man notebook pen pencil racket  
song student teacher telephone woman など。

“an apple” のように “an” を付ける名詞のグループ

apple animal answer egg eraser idea island octopus orange umbrella など。

…どうでしょう？

“an” を付けるグループの名詞には、何か特徴がありませんか？

ヒント: a i u e o

そう！！

“an” を付けるグループの名詞は、

a i u e o (←これらを「母音」(ぼいん)といいます)のどれかの発音で始まる名詞なんです！！(≧▽≦)

では、こんなのはどうでしょう？

① (            ) big orange

② (            ) interesting story

どちらも「形容詞で飾られた名詞」です。(形容詞:big, interesting 名詞:orange, story)

(            )には “a” と “an” どちらを入れますか？

正解:

① (    a    ) big orange

② (    an    ) interesting story

つまり、

「名詞が母音で始まるかどうか」ではなく、

「“a” または “an” の直後の単語が母音で始まるかどうか」

というのがポイント！ \ (^▽^)

そもそも、“a” と “an” の区別は、「発音しやすいようにそうなった」というのが理由なので、逆に…

× a orange

× a interesting story

これらを発音してみると、発音しづらいでしょう…？

しづらいよね…？

“an” を付けたほうが、発音しやすいと思います(^▽^)♪

※これはどうですか？

(            ) year

year:「年」という意味の名詞ですね。

(            )には “a” と “an” どちらを入れますか？

正解:

(    a    ) year

“an” を入れてしまいたくありませんよね！

year は「イヤー」だもんね！ 気持ちはわかる。

でも、英語の世界では、“y” は「イ」という母音ではないのだ! (“y” と “i” は別物!)  
だからこれは “an” じゃなくて “a” を付けるのが正解。

year の他にも、yellow umbrella とか、“y” の前に “an” を付けてしまわないように気をつけてね!

### 3 名詞だけど “a” や “an” を付けない例

#### ① 名詞が「複数形」の時。

“a” や “an” は、単語の意味としては「1 つの、1 人の」という意味なので、books や apples など “s” や “es” が付いて「複数形(=その物が 2 つ以上あることを表す)」になっている名詞に “a” や “an” を付けることは、思いっきり矛盾します。

- × a books
- × an apples

…うーん矛盾。すごく矛盾。1 つなの? 1 つじゃないの? どっち?? 頭が混乱する—(@▽@)  
読む人を混乱させないように、複数形の名詞に a や an は付けないでね。

#### ② “my” “your” “his” “her” など が付いた名詞。

つまり、“I – my – me – mine” “you – your – you – yours” などの「2 番目の語」=私の、あなたの、など「~の」という意味の語、です。(これらを文法用語では「代名詞の所有格」といいます。)

これらの語は、“a” や “an”(ついでに “the” も)と一緒に使わないことになっています。そういうルールなのでしょうがない。一緒に使うのはやめましょう。

#### ③ “this” “that” “these” “those” が付いた名詞。

これらも②と同じで、“a” や “an”、“the” と一緒に使わないことになっています。そういうルールなのでしょうがない。以下同文。

ちなみに、“these” “those” は「複数形の名詞」に付ける語なので(それぞれの意味は調べてみてね)、その点でも “a” や “an” と一緒に使うことは不可能です。

#### ④ 名詞が「数えられない名詞」の時。

「数えられない名詞」とは? 例をあげます。

water milk bread chalk music money など。

飲み物や食べ物だったり、お金だったり…

これらは名詞の中でも「物質名詞」と呼ばれるものだったり、「抽象名詞」と呼ばれるものだったりします。

そして、英語の世界では、「**数えられない名詞**」として扱われます。

辞書でそれぞれの単語を引くと、「不可算」(＝数えられない、という意味)と書いてあったり、

”U”(←「不可算名詞」という意味)と書いてあったりします。

なんでお金が「数えられない」んだ～！

500円とか1万円とか数えるじゃないか～>(T▽T)

という声が聞こえてきそうですが…

詳しくは「名詞」の解説ページで説明しますので、

「イチから(初級)」レベルを学習中の人は、「”water” とか ”money” は数えられないんだな」とだけ覚えておいてください！

そして数えられない名詞には、“a” や “an” は付けないでくださいね。

(ちなみに “the” は付けられます。ここがまたややこしいんだけどね…ため息)

#### ⑤ 名詞が「大文字で始まる名詞」の時。

人の名前や地名など(←これらを「固有名詞」(こゆうめいし)といいます)、それから、

曜日: Sunday, Monday, Tuesday… など

月: January, February, March, April, May, June… など

こういった大文字で始まる名詞には、通常、“a” や “an”、“the” は付けません。付けないでね。

(例外もありますが、中学英語には出てこないの、初級の方は「付けない」と覚えておいてよし。)

以上、**1**、**2**、**3**が、“a” や “an” の付け方のコツです。

あとは問題練習や英作文にどんどん取り組んでみて、

悩まずにスラスラと使いこなせるくらいまで、慣れてね！ 頑張れ～♪\(^▽^)

初級の問題や英作文に慣れてきたら、

中級以上の問題にもどんどん取り組み、いろいろな例外なども学んでみてね☆